

全国患者図書サービス連絡会会報

No. 5

Sept. 1995

第12回医学情報サービス研究大会ラウンドテーブル報告	
患者図書サービスの展開 (自治医科大学図書館 奈良岡 功)	1
患者さんやその家族のための医学書 (京都南病院図書室 山室 真知子)	2
新規会員自己紹介	
(慈恵会医科大学医学情報センター図書館 田部井 香織)	3
会員活動報告 (東北厚生年金病院 小川美穂)	4
事務局より 編集後記	6

患者図書サービスの展開

自治医科大学図書館 奈良岡 功

長崎大学で開催された第12回医学情報サービス研究大会のラウンドテーブルは、7月2日(日)の12時から13時30分、昼食を共にしながら、各テーマに興味のある参加者達が、一堂に会して情報交換をしようとする目的で設定された。ラウンドテーブルは昨年の岩手大会から企画され、この時からテーマの一つに「患者図書サービスの展開」が設けられ、今回で2回目である。

今回の昼食は、長崎大学医学図書館のご配慮で、地元名産の大皿に盛られた血うどんを各自が取り分けて食べるといった趣向であり、今大会はあいにくと雨が多く、地元の名産を食べに行く機会に恵まれなかった参加者には、何よりの配慮の心づくしの昼食であった。

本連絡会からは、会長は出席できなかったが事務局の水上氏、幹事の山室氏、それに奈良岡がモデレーターとして出席した。今回は大学図書館から5名、病院図書室から3名の8名が参加した。8名の内訳は、実際にサービスを実施している者が5名、上司からサービスを開始するよう指示されている者が1名、最近の入院経験の中から「患者図書サービス」の必要性を感じている者が1名、これから大学の病院で開始したいと考えている若い図書館員が1名、といったメンバーである。

サービスの経験年数も25年から1年目までとバラつきがあったが、テーマがボランティア精神に立脚した仲間であるとの互いの認識は、自己紹介を兼ねた各々のサービスのかかわり方等を話してもらうことで、短時間で相互理解が得られ、和気あいあいとした雰囲気の中で充実した1時間半が過ぎた。

今回は、主として近々に開始を命じられている参加者やこれから始めたいと考えている参加者への、自分の活動の状況を踏まえたアドバイスが行なわれた。これは1人でも多くの仲間の良いサービスを良い形で開始してもらいたいという仲間意識から、相手の条件等を質問しながら、自分の経験を元にあたかも自分のことのように熱心に検討がなされた。

最後に、昨年1月に発足した「全国患者図書サービス連絡会」の設立趣旨等の説明があり、今後、益々多くの仲間がサービスを開始して、連絡会をベースに相互協力の必要性を確認して終了した。血うどんの美味しさもさることながら、とても充実した一時を過ごすことができたことを、長崎の実行委員会の皆さんに感謝して、報告とする。

患者さんやその家族の人々のための医学書 1.

京都南病院図書室 山室 真知子

患者さんやその家族の人々、そして一般の人々のために書かれた病気や食事療法の本が、最近沢山出版されています。その中から、誰にでも分かりやすく、そして正しい知識が得られる本を選んでご紹介していきたいと思えます。出来れば患者さんへの貸出しの本の中に加えていただきたい本です。第1回目として、シリーズ「南江堂ヘルスガイド」をご紹介します。いずれも1冊平均約1,000円位です。

糖尿病の正しい知識	気管支喘息の正しい知識
糖尿病インスリン療法の正しい知識	小児ぜんそくの正しい知識
糖尿病食事療法の正しい知識	てんかんの正しい知識
糖尿病運動療法の正しい知識	老人性痴呆の正しい知識
糖尿病性網膜症の正しい知識	Q & A 痴呆老人の理解とケア
糖尿病 あなたが 主治医	不眠症の正しい知識
脳卒中の正しい知識	腰痛の正しい知識
不整脈の正しい知識	ミズムシの正しい知識
ペースメーカーの正しい知識	腎炎・ネフローゼの正しい知識
狭心症・心筋梗塞の正しい知識	慢性腎不全の正しい知識
高血圧の正しい知識	小児のアレルギー疾患生活ガイド
肝炎の正しい知識	尿失禁のコントロール やればできる
痛風の正しい知識	

発行所： 南江堂

新規会員自己紹介

東京慈恵会医科大学
医学情報センター図書館
田部井 香織

生まれたときから今まで病気らしい病気ひとつしたことがなく、従って病院のお世話になったことも入院生活を送ったこともない私が、患者さんへの図書サービスに興味をもちはじめたのは、いったいつ頃からだったのか、自分でも思い出すことができません。ただ正直に言って、長いこと闘病生活を続けている患者さんは、さぞかし退屈であろうという印象はあります（病気やけがの苦痛で娯楽どころではない患者さんもいらっしゃるでしょうから、不謹慎かもしれませんが）。

家族や友人が入院しているところへお見舞いに行くことも今まで何度かありましたが、入院生活が長びくにつれて、彼らがいかに病人らしくなっていくようでいつも不思議な気がしたものです。肉体や精神のどこかに病気があることで、そのほかの病んでいない部分の健全な活動までが妨げられてしまうからなのでしょう。

たとえば体が動かなくても、心は新しい知識や感動を求めて動いているはずです。ただ、そうした喜びを得る労力は、心身ともに健康なときと同じというわけにはいきません。そうしたことへの手助けに何かしたいと思いながらきっかけをつかめずにいたころ、7月の長崎でおこなわれた医学情報研究サービス大会に参加して、患者さんへの図書サービスを実践していらっしゃる皆さんにお会いすることができました。実践の経験のない私からはあまり発言はできませんでしたが、ラウンド・テーブルでご一緒した山梨医大の水戸さんに、連絡会のことなどいろいろ教えていただけるようお願いしました。そしてこうして、第一歩をふみだすことが出来てほんとうに感謝しています。

これからもよろしく願いいたします。

田部井 香織（個人会員） 1995.7.22入会
〒105 港区西新橋3-25-8
東京慈恵会医科大学医学情報センター図書館
TEL: 03(3433)1111

会員活動報告

東北厚生年金病院「もーびるらいぶらりー」の活動報告

もーびるらいぶらりー 世話人 小川美穂

名称：もーびるらいぶらりー（英語の得意な総婦長命名による）

目的：図書の巡回貸し出しサービスを実施する事で、入院患者さんに少しでも快適な療養生活を送っていただけるようにする。

対象：入院患者さんとその家族（精神科は除く）

貸出本：文庫本・単行本・絵本・コミックスなど、職員や患者さんからの寄贈本を利用（受入・貸出後に消毒）

活動日時：毎水曜日 14：00から16：30まで（祝日・年末年始は休みです）

形式：ブックトラックによる病棟巡回形式

活動者：5人のボランティア+小川+ソーシャルワーカー+協力者

資金または予算：ゼロ

年間平均貸し出し数：15人40冊／回

ちなみに、当院は19科500床の病院で、企画者である私は医局秘書と図書室の所属です。

1. 活動を始めたきっかけは

- ① 患者図書サービスに興味があった
- ② 新築された図書室を訪ねてくる患者さんが多かった
- ③ 活動を支援してくれる友人がいた
- ④ 活動に理解のある管理者がいた
- ⑤ 外来の待ち時間解消にしたかった（のですが、いつのまにか入院患者へのサービスから開始する事になった）

2. ボランティアについて

看護部と相談の結果、日中の本の貸出となり、ボランティアを募集することになりました。が、当院ではボランティアの導入例が全く無く、難色を示す人も多く、初めの半年間

は当院の退職者にお願いしました。現在は、新聞で募集したボランティアの方が来ております。ボランティア保険も加入することが出来て、やっと一息ついている所です。

3. 1年間やってみての実感

「患者図書サービス」は大変だろうなと思ってはいましたが、これほどエネルギーがいるとは……。

まず、管理者への交渉、会議にかけるための企画書作成（勤めて初めての経験）、本集め、ボランティア団体や地域の図書館との交渉、他の病院の患者サービスの資料集め etc.

私自身は主婦でもあり、遠距離通勤者でもあるので、条件としては土日を使わずに平日の夕方週1-2時間で出来るボランティア、と考えていたのが、やる前からこんなに忙しく大丈夫だろうか？早まったことをしてしまったかしら？と考えることも度々でした。

当時欲しかったものは、病院との交渉術・企画書の書き方・ボランティア受け入れマニュアル・ボランティアマニュアルと本を必要としている患者でした。幸い、この会を通して、何人かの会員の方に資料をいただくことが出来て大変助かりました。

本は順調に集まり、今では3,000冊以上はあると思います。（マンガ本より推理小説が人気があります。）

本の貸し出しをしてみて、入院患者は検査やリハビリで忙しいのがわかりました。また、患者さんは本の貸し借りだけではなく、「何か」を望んでいる時があることも。

5. これからの課題

外来での貸し出しサービスの実行です。現在は試験的に雑誌・マンガなどを置いて、利用状況や破損状況をみている所です。

あとは、活動資金と部屋の調整がつくといいのですが。ゆくゆくは、地域の人々にも貸出することが夢です。

東北厚生年金病院「もーびるらいぶらりー」

989 仙台市宮城野区福室字高砂10

TEL: 022(259)1221 (478)

FAX: 022(259)1232

◆ 事務局よりお知らせ

[新規会員]

(個人会員)	田部井 香織	新規会員自己紹介に掲載
(個人会員)	安田 多香子 (1995.8.5入会)	〒464 名古屋市千種区鹿子殿1-1 愛知県がんセンター図書室 TEL: 052(762)6111内線2303

[名簿の訂正]

(誤)	東邦大学医学部附属大森病院 「ぐりぐらの会」	
(正)	東邦大学医学部附属大森病院 <u>ボランティア</u> 「ぐりぐら会」	
(誤)	八戸赤十字病院 「たんぽぽの会」	掛端 五似子
(正)	八戸赤十字病院 「たんぽぽの会」	掛端 丕似子

申し訳ありませんでした。

☆☆☆☆☆☆

編集後記

・今年の夏は、冷夏と言われていましたが、毎日暑い日が続きますね。皆さんお元気ですか？私の実家では葡萄を作っているの、ほっとしていますが、雨がふらないのでこれまたこまっています。この会報が届く頃は、秋らしくなっているでしょうか。

・10月に新潟で開催される全国図書館大会に出席することになりました。2年後の山梨大会を踏まえて、勉強してくるつもりです。7月に長崎で開催された医学情報サービス研究大会で出会ったお二人に、入会していただきました。新潟でも出会うのを期待しています。

・全国図書館大会に、一緒に同封しました全国調査(サービス実施団体のみ)の結果を持参したいと考えています。よろしくご協力をお願い申し上げます。

・Nifty-serveのフォーラムに「市民運動・ボランティアネット」(FACTIVE)がopenしました。私たちの会のことをのせてみようと思っています。niftyに入っている方は連絡ください。

・時節がらご自愛を

(佳)

全国患者図書サービス連絡会会報

No. 5 1995. 9. 1 発行
編集発行 全国患者図書サービス連絡会事務局
〒400 山梨県甲府市大手1-2-11
水上 佳子
TEL 0552 (52) 0960
Internet : yoshikom@res.yamanashi-med.ac.jp
Nifty-serve : GEG05343
郵便振替口座 / 00470-6-13321
